

田村駒 韓国メーカーと協業

二つの機能素材投入

製品OEMで差別化

田村駒は18、19年秋冬向けから、韓国企業と協業して機能素材を投入する。いずれも発熱機能がある素材で、製品OEM(相手先ブランドによる生産)で活用し、店頭での差別化につなげる。(稲田拓志)

今回、投入するのはテキスタイル開発発案が主導して韓国企業と協業したもの。一つは韓国メーカーが開発した発熱タイプのポリエステル粒

年秋冬では扱ひ量を増やし、製品OEMでの重点に位置付けている。もう一つが、韓国の紡績と取り組んだ「フレア・メガヒートファブリック」。太陽光や電灯などの光を「熱エネルギー」に転換し、発熱する「機能」を持ち、中空構造の糸を使用しているため、「熱エネルギー」を逃し

にくいほか、軽量化も実現できるといふ。韓国の紡績が供給する糸を、田村駒が織り、編み、製品化する。田村駒はオリジナル素材で実績のある「フィリジター」と同様、自社の独自素材ブランドとして打ち出す。エコファターの裏側に使ったリ、フリースでの活用を想定しているが、横編み用の糸としての使用も検討している。スポーツ、アウトドア、ユニフォームなど幅広い分野で提案する。18、19年秋冬向けでは、オリジナルのシャツ・ブラウス素材として、ポリエステル100%のトリコットを提案するほか、「エコ・フレンドリー」をキーワードに、リサイクルウールやエコダウン、エコファーも重点的に発信する。

米に炭素繊維の新工場を建設 帝人 帝人は、米国に炭素繊維焼成の工場を新設する。新工場はすでに土地を取得していたサウスカロライナ州に建設する。12月に設立するティジン・カーボン・ファイバース(TCF)が運営、20年度からの稼働を目指す。TCFの新工場への焼成原料供給のため、東邦テナックス三島事業所のプリカーサも増設する。投資額は、土地取得、造り、新工場建設、設備費、三島の増設も含め約350億円、新

工場および三島の稼働に注力している。TCFでは当初、向けを中心に炭素将来的には自動車部品を目指す。また、物生産など高次加工で付加価値を付けたいと、これまで以上に伸ばす方針。また、帝人は炭素行っている東邦テナックス4月1日付で、現在は既定路線だったグループ内での構造変更のため遅れていたため、これまでは個別会社だったため、密保持契約の手続き

展示会発信を国内外で強める

素材と製品で総合提案

川越政

服地コンパターの川越政は、テキスタイル事業と製品OEM(相手先ブランドによる生産)事業の連携による総合提案の強みを生かし、国内外の展示会発信を強める。プレミアム・テキスタイル・ジャパン(PTJ)11月展に続き、東西の総合展を単独で開催。18年1月にはシエトロ(日本貿易振興機構)の米・ニューヨーク展「ジャパ

ン・テキスタイル・サロン・イン・NYCにも初参加し、存在価値の発揮を目指す。総合展は12月に大阪、来年1月に東京で開く。シーズンにこだわらず、オリジナル開発したテキスタイルやそれを活用して縫製したメンズ・レディースアパレル、雑貨を提案する。テキスタイルは、京都で染色した新シリーズ「グランクリュー」をはじめ、国内開発の生地や米産の高強力ポリエチレン素材など約300マークを揃える。新シリーズでは60番手の麻やレーヨン・麻をハードとソフトの風合いの違いで仕上げるなど、天然繊維を中心とする厳選した高級素材を提案し、縫製まで対応する。製品は約100型を提案。グランクリューによるメンズのカバーオールやレディースのワンピース、ジャケットのほか、オパールニットのコートやデニムのボレロ、ダウンウェアなどでニッチな面白さも意識した。雑貨は

服飾副資材メーカーのアイリスは、18年秋冬向けの新作ボタンを作った「写真・スーツやコートと相性の良い上質で存在感のあるボタン」を提案する。型を作らずに小ロットでオリジナルの柄や文字を入れる新しい加工技術も打ち出す。5、7日に東京・日本橋浜町の「ボタンの博物館」で開く展示会で発表する。

メンズ向けの見本帳「バイブル&ベルガ」では、クラシコイタリアをテーマにした新作を出す。主力はオランダ水牛を模したボタン。オランダ水牛ボタンの特徴であるランダムなマーブル状の柄を本物のように再現した。シリコン製のボタンやロードストップバーなどスポーツミックスのファッションを想定したパーツ類も充実した。レディース向けの見本帳「プラシエロコレクション2」は、2年ぶりに発表する最新版だ。チェック柄や光沢がある生地などトレンドの表地に合うボタンを出す。最大で直径35mmのボタンをはじめ、大きめで厚みもあり、表地の個性に負けない存在感のある物を作った。レディーススーツ需要を見込み、黒、ベージュ、ネイビーの薄型ボタンも揃える。

「バンビレーザ」という独自の新技术は、金属パーツに小ロットでオリジナルのデザインを加工できる。従来、金属パーツに柄や文字を入れる場合、凹凸で立体感を出すには型の製作が必要でコストがかかるため、量産向きだった。現在は、凹凸のない樹脂製のパーツに加工し、金属パーツに加工する。従来の金属パーツに柄や文字を入れる場合、凹凸で立体感を出すには型の製作が必要でコストがかかるため、量産向きだった。現在は、凹凸のない樹脂製のパーツに加工し、金属パーツに加工する。

「バンビレーザ」という独自の新技术は、金属パーツに小ロットでオリジナルのデザインを加工できる。従来、金属パーツに柄や文字を入れる場合、凹凸で立体感を出すには型の製作が必要でコストがかかるため、量産向きだった。現在は、凹凸のない樹脂製のパーツに加工し、金属パーツに加工する。



製品OEMまで対応する新シリーズ「グランクリュー」

素材から製品まで一貫提案

クroppオサキ EC調達

服飾副資材のクroppオサキ

服飾副資材のクroppオサキ(東京)は、素材調達から製品OEM(相手先ブランドによる生産)までの一貫提案と、副資材のECで顧客サービスを強化する。来年1月には事務所を移転してショールームの機能も拡充する。

同社はこの間、表地、副資材、製品OEMの三位一体営業

だ。新事務所では営業担当者を全員同じフロアに集めて日常的なコミュニケーションを活発にし、商機をつかみやすい体制にする。顧客の動向を把握するため、顧客との情報共有にも力を入れる。約100平方メートルのショールームを設け、仕入れ先から集めた表地のサンプルや、ボタ

月からB to B(企業間取引)の会員制(無料)ECサイト「ハンディークropp」をオープンする。サイト内では同社が扱う各種素材の画像を見ながら、御売価格、見積もりまで素早く確認し、すぐさま発注できる。サイトの立ち上げ時は600種類以上の副資材を揃えた。ECで

ハンガー製造・販売のFYS(エフワイエス)は、環境省の

中国の廃プラ輸入規制も追い風

ハンガーの回収やリサイクルなど、小売業者処分費などを減らすため、FYSは広域での自治体委託による業務を受託でき

存在感ある上質さ提案

アイリス 小ロット向け新加工技術も

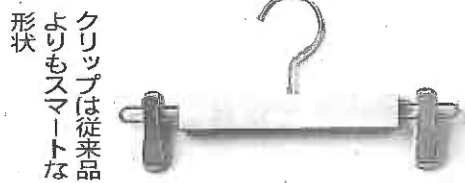
服飾副資材メーカーのアイリスは、18年秋冬向けの新作ボタンを作った「写真・スーツやコートと相性の良い上質で存在感のあるボタン」を提案する。型を作らずに小ロットでオリジナルの柄や文字を入れる新しい加工技術も打ち出す。5、7日に東京・日本橋浜町の「ボタンの博物館」で開く展示会で発表する。

メンズ向けの見本帳「バイブル&ベルガ」では、クラシコイタリアをテーマにした新作を出す。主力はオランダ水牛を模したボタン。オランダ水牛ボタンの特徴であるランダムなマーブル状の柄を本物のように再現した。シリコン製のボタンやロードストップバーなどスポーツミックスのファッションを想定したパーツ類も充実した。レディース向けの見本帳「プラシエロコレクション2」は、2年ぶりに発表する最新版だ。チェック柄や光沢がある生地などトレンドの表地に合うボタンを出す。最大で直径35mmのボタンをはじめ、大きめで厚みもあり、表地の個性に負けない存在感のある物を作った。レディーススーツ需要を見込み、黒、ベージュ、ネイビーの薄型ボタンも揃える。

「バンビレーザ」という独自の新技术は、金属パーツに小ロットでオリジナルのデザインを加工できる。従来、金属パーツに柄や文字を入れる場合、凹凸で立体感を出すには型の製作が必要でコストがかかるため、量産向きだった。現在は、凹凸のない樹脂製のパーツに加工し、金属パーツに加工する。

ハンガー製造・販売のFYS(エフワイエス)は、環境省の

売り場での実用性に支持



クリップは従来品よりもスマートな形状

ハンガーの回収やリサイクルなど、小売業者処分費などを減らすため、FYSは広域での自治体委託による業務を受託でき

リユース事業伸びる

ハンガー製造・販売のFYS

ハンガー製造・販売のFYS(エフワイエス)は、環境省の中国の廃プラ輸入規制も追い風

ハンガーの回収やリサイクルなど、小売業者処分費などを減らすため、FYSは広域での自治体委託による業務を受託でき